

5. 研修旅行について

本年度10月21日から3泊4日で、台湾への研修旅行を計画していたが、国内外の新型コロナウイルス感染症の拡大状況から生徒の安全面を第一に考慮し、実施時期および実施方面を変更した。しかし、感染症の拡大は1月になっても収束せず、今年度の研修旅行の実施は中止を余儀なくされた。

(1) 台湾方面研修旅行について

昨年度に引き続き、台湾台北市を主とした研修を計画していた。研修内容は、「文化交流」「国際・歴史」「観光行政」「教育と子ども」「産業技術」のテーマ別研修、台湾国内を自由に観光するクラス別研修、生徒4～6名ずつが台北市内を自分たちが決めたテーマに基づいて、世界各国の台湾在籍留学生の案内により研修するB&Sプログラムである。

(2) 九州方面研修旅行・3月実施への変更について

ア 変更の経緯

新型コロナウイルス感染症の感染状況および収束の見通し、生徒の安全面等を考慮し、学年会議、校外学習委員会、総務委員会、職員会議で審議を重ねた結果、九州方面に3月2日から3泊4日で実施する方向となった。変更理由は次のとおりである。

- ・海外への渡航は、空港等での感染の恐れが高いことや、国外で新型コロナウイルス感染症に感染した場合のリスクが大きいこと。
- ・生徒の安全性を考え、最大限延期できる時期として学年末考査の後に実施することで、生徒が研修旅行と学業との気持ちの切り替えをしやすいこと。
- ・研修内容、3月の気候、実施費用等を勘案。

イ 九州方面での研修の内容

次の3コースを提示し、クラスでの話し合いでコースを決定した。

Aコース……博多から長崎、熊本、別府を経て小倉駅へという九州横断コース

Bコース……博多から熊本、天草、長崎を経て博多駅へという九州西部コース

Cコース……鹿児島から人吉、天草を経て熊本駅へという九州横断コース

3泊4日の行程を、研修旅行委員が中心となってプランニングした。必ず入れ込む条件は、ワークショップ型研修とセミナー型研修を各1種類以上必ず入れるということである。クラスでの話し合いと旅行業者担当者との企画相談会を繰り返し、研修旅行として充実した旅行プランを完成させた。具体的には、様々な国の留学生と英語で平和学習をする「グローバルフレンドシップ長崎」、長崎大学の学生とフィールドワークで坂の街歩きをし、その後大学でグループワークを行う「坂の街から見える考える日本」、九州大学の留学生との「B&Sプログラム」などのワークショップ型研修と、日本の造船技術を学び知る「軍艦島上陸・周遊クルーズ」、「知覧平和学習」、「JAXA内之浦宇宙観測所研修」などのセミナー型研修を設定し、クラス活動として「イルカウォッチング」や「阿蘇アクティブ体験」「大分マリンパレス水族館」などの企画を立てていた。

(3) 研修旅行の中止について

年が明けても新型コロナウイルスの感染状況の収束の兆しは無く、1月7日には1都3県に、続いて13日には福岡県を含む7府県を加えて、政府は緊急事態宣言を発出した。2月2日には栃木県を除く10都府県に対して1か月の延長となっている。このような状況に加え、九州での医療体制の逼迫状況や現地での行動の制約等に鑑み、そして何よりも生徒の健康と安全を第一に考慮した上で、中止という苦渋の決断に至った。